

# 上山市中期財政計画（案）についてのパブリックコメントの 実施結果及び市の考え方について

## 1 実施結果

(1) 意見募集期間 令和2年3月27日（金）～令和2年4月10日（金）

(2) 提出方法別の提出人数及び意見数

メールにより、1人の方から1件のご意見をいただきました。

## 2 意見の概要と市の考え方

意見の概要	<p>令和2年度以降、財政調整基金からの取りくずしが3億～5億円にのぼり、実質単年度収支の赤字が見込まれるのであれば、かみのやま温泉駅前広場整備に9億円の支出はかかりすぎていると考えます。費用対効果が低すぎます。</p> <p>当初予算は6億5千万円だったのが9億円に増え、今後実施に当たりさらに増額されることも考えられます。</p> <p>財政課としてかみのやま温泉駅前広場活用検討委員会に、切迫した上山市の財政状況を伝えるべきと考えます。建設ありきではない旨を伝えるのも財政課の仕事と考えます。</p> <p>令和5年度までに1.5億円の歳出規模を縮減できるよう歳出改革を推進するためにも、ぜひともお願い申し上げます。</p> <p>費用対効果が低いことに関する意見は、建設課のパブリックコメントに述べさせていただきます。</p>
市の考え方	<p>この度のご意見は、現在の財政状況下で実施が予定されている新たな事業に対するご懸念と理解しております。</p> <p>確かに、本市の財政は今後堅実な運営が求められるところです。その一方で、市勢発展のためには一定規模の投資的事業が必要です。その際、財政規律を守りながら事業を実施していくことは当然であります。</p> <p>令和5年度までの本市が守るべき財政規律を定めたものが中期財政計画であります。これから、本市は計画的な財政運営のもとで事業を着実に実施していくことで、継続的な発展を目指してまいります。</p> <p>なお、駅前広場整備事業については、令和3年度から令和7年度までの5か年の事業を予定しております。その事業費のおよそ50%は国の交付金を活用し、残る50%の大半は借入金により対応する予定ですが、国からの交付税により後年度に措置される事業となっております。このため、市の実質的な負担額は全体事業費のおよそ40%と見込んでおります。また、駅前広場整備による維持管理費（除雪費等）は、現在の負担額と大きく変わらないため、後年度に追加的な負担が生じることは無いと捉えております。</p> <p>予定している駅前広場整備事業は、歩車の分離がされていない、歩行空間が狭小、歩行者・自転車と自動車が交錯する、バス停が駅前広場から離れかつバス利用者の利便施設が無い、玄関口としてふさわしくないなど市民の皆様や駅利用者からのご指摘を踏まえ、これらの課題の解決を目的とするものであり、必要な投資と考えております。引き続き、市民の皆さまから幅広いご意見をいただき、丁寧に進めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。</p>